



合唱コンクール ノーサイド



10月17日(日)、合唱コンクールをマリンウエーブで行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージ近くの座席の不使用や、一座席分の間隔を取るなどの対策を行いました。このため、無観客での実施になってしまいました。保護者の皆様には大変申し訳なく思っています。

一方、多くの保護者の方に、ライブ配信をご覧いただいたり、DVDやブルーレイを購入したりしていただきました。ありがとうございました。

審査結果は出てしまいましたが、ノーサイドです。どの学級も、本番の合唱で仲間の心が一つになったと思います。たとえベストが出せず悔いが残っても、学級の仲間の努力を認められる人であってください。お互いの学級の健闘を称(たた)え合える人であってください。結果よりも、練習を積み重ね、ステージに立ち、学級全員が心を合わせて一つの目標に挑んだことに一番大きな意味があるのです。

これまでの練習を振り返ってみてください。9月の初旬より歌がうまくなっていることは間違いありません。でも、それだけではありません。みなさんはこの合唱コンクールに向けての練習を通じて多くのことを学んだはず。歌が苦手な人は、練習自体が苦痛だったかもしれません。学級での合唱練習は、うまくいかないほうが多かったはず。また、練習をめぐって、学級の中ではさまざまなトラブルが起こったはず。不満や悩み、特に伴奏者や指揮者の人は、他の人達とは違った不安や苦しみがあったと思います。しかし、学級の一人一人が、これらを乗り越え、数分間の学級合唱に全力を尽くし心が一つになったからこそ、聴く人を感動させる美しいハーモニーが生まれたのです。

みなさんは合唱コンクールがあることを当たり前だと思っているかもしれませんが、外国では学級対抗の合唱コンクールは、ほとんどありません。日本でも、合唱コンクールをしていない中学校はたくさんあります。誰にでもできる経験ではないのです。そして、みなさんが合唱コンクールで歌った歌はいつまでも頭と体に残り、将来、何か落ち込んだときや悲しいことがあった時に、ふっとその曲を口ずさむことができるでしょう。練習を重ねて、みなさんの心と体の中にいつまでも忘れられない記憶として刻み込まれたはず。それは心の豊かさにつながり、生涯の宝物になるのです。

2学期も、もう約半分が過ぎ、折り返し点です。今日からは、3年生の3月11日の卒業式、1・2年生の3月24日の修了式という、各学年のゴールに向かって新たな気持ちでスタートを切ってください。

学年	学級	曲名	指揮者	伴奏者
1	2	あさがお	楠本 輝	三好 伶奈
	3	地球星歌～笑顔のために～	馬場 一誠	藤岡 京夏
	1	空は今	武下 莉愛	白石 桃子
2	2	花は咲く	安部 蒼太	吉田 芽生
	1	HEIWAの鐘	磯崎 翔太	大西 佑奈
	3	時の旅人	岩田 優人	林本 結宇
3	2	友～旅立ちの時～	小野 陽斗	富山 裕香
	1	親知らず子知らず	田尾 瑞基	筒井 瑠菜
	4	信じる	小原 權	高城 小波
	3	木 琴	藤岡 昊城	水口琥太郎